

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和7年7月29日（議会臨時会） 同日に5回開催 第1回 午前 9時57分 開会 午前10時34分 閉会 第2回 午前11時13分 開会 午前11時50分 閉会 第3回 午後 1時14分 開会 午後 1時27分 閉会 第4回 午後 2時50分 開会 午後 2時56分 閉会 第5回 午後 3時48分 開会 午後 3時51分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	清田 文雄 玉虫志保実 竹内恵美子 鈴木たまよ 吉川 重雄 二宮加寿子 橋本 秀彦 鈴木 京子 石川 則男 おかみゆき 高橋 英俊 庄子 幸太 毛利 泰輔 亀倉 弘美
4 説明員	町側出席者なし
5 職務のため 出席した職員	局 長 岩本 清嗣 書 記 秋本 篤史
6 協議等の事項	第1回 （1）議事日程について （2）議長の選挙について 第2回 （1）副議長の選挙について 第3回 （1）議席の指定について （2）監査委員の推選について （3）常任委員会委員の選任について 第4回 （1）総務建設常任委員会委員長・副委員長の報告について （2）福祉文教常任委員会委員長・副委員長の報告について （3）第二次新庁舎整備事業特別委員会委員長・副委員長の報告について （4）議会運営委員会委員の選任について （5）議会だより編集委員会委員の選任について 第5回 （1）議会運営委員会委員長・副委員長の報告について （2）議会だより編集委員会委員長・副委員長の報告について （3）都市計画審議会委員の推薦について （4）民生委員推薦会委員の推薦について
7 その他	一般傍聴 延6人

○第1回

※吉川重雄議長の辞職に伴い二宮副議長が会議の進行を務めた。

(1) 議事日程について

事務局から本日の議事日程タイムスケジュール(予定)について説明し、その内容のとおり進めることを確認した。

(2) 議長の選挙について

- ・選挙方法について、投票または指名推薦かを諮り、投票と決定した。
- ・立候補者の確認をしたところ、清田文雄議員が立候補を表明、立候補にかかる所信表明を行い、続いて質疑応答を行なった。

<清田文雄議員の所信表明>

- ・中立かつ公正な職務の遂行に努め、民主的かつ柔軟な議会運営に全身全霊で臨みたい。
- ・町民から選ばれた議員の発言は、町民1人1人の大切な意見として、少数意見も反映できるよう努力し、活発な議会運営をしていきたい。
- ・議会改革について、議会のICT化による情報発信、ペーパーレス化による職員の働き方改革や事務の効率化、議会の災害対策、議会を身近に感じてもらえるような議会報告会の検討をさらに進めていく。
- ・この2年間の池田町長の大磯町政や議会への政治姿勢に疑問を持っているが、行政側と緊張感を持ちつつ、信頼関係を確保していきたい。
- ・議員各位の意見に真摯に耳を傾け、不偏不党、公平無私の調整役に徹する一方、強いリーダーシップを発揮し、議会内の融和を図り、公平で民主的な議会運営を実行していく。

<立候補者への質疑・応答>

問：清田議員は、2年前の町議選で初めて自民党として選挙に臨まれた。

福祉文教常任委員会委員長のときに、委員会で採択された陳情について、提案者でありながら、本会議で反対されたことがあり混乱したことがあったが、自分の思想、信条と、議長に立候補表明されたことと不整合が起きないか。

答：私は自民党公認の議員であり、自民党の党議拘束において活動していくが、大磯町議会議長としての立場となれば、大磯町議会議員や町民の方のために判断していきたい。

問：「強いリーダーシップ」の具体的イメージは。

答：議案審議や行政への要求などは、議会としてまとまらないことはある。それらを1つにまとめていく、というのが強いリーダーシップと考えている。

問：現在、一般質問の時間が制限されていて、3日間にするという意見があるが、どう考えているか。

答：私自身も一般質問の時間が足りないこともあったので、実施可能であれば、6月と12月にしてはどうかと考えている。これは事務局との調整だけでなく、行政との調整もあるので、議会運営委員会などで協議してい

きたい。

問：議会改革について、ＩＣＴ化、防災、広報広聴の３点を協議してきたが、それ以外に取組みたいことはあるか。

答：議会と町長の同日選は検討していきたい。

問：ＩＣＴ、ＤＸについて協議しているが、新庁舎建設が遅れている。新庁舎建設にかかわらず着手すべき思うがどう考えるか。

答：ＩＣＴに関しては、新庁舎整備と一緒に進んでいくと思うが、勉強会（研修会）などを行い準備していかなければと考える。防災対策、議会報告会についても、一緒に考えていきたい。

問：この２年間は、行政側の説明不足や議論が尽くされていないという課題が浮き彫りになったという印象。改めて、池田町政とどう立ち向かっていくのか。

答：行政と議会は、二元代表制で対等な立場。これからも緊張感を持ってやらなければならない。池田町長、鈴木副町長、町の幹部との話し合いを積極的にしながら進めていきたい。

問：議会として議員としてのガバナンス強化の考えは。

答：ガバナンスの強化は、必要であればやっていかなければならない。

問：少数意見を大切にしたいと言われたが、もう少し刺さるような言葉が欲しい。ＩＣＴ化、デジタル化は議会運営に必要なものだがその考えは。

答：少数意見等を取り入れながら、一度決めたことは全員でそれに向かっていくべき。難しいこともあるが努力していきたい。

ＩＣＴ化については、新庁舎建設の問題もあるが、議会と行政との関係性、お金の問題も鑑みてやっていきたい。

○第２回

※本会議で選任された清田文雄議長が会議の進行を務めた。

（１）副議長の選挙について

※二宮加寿子副議長の辞職に伴う副議長の選挙について協議した。

- ・選挙方法について、投票または指名推薦によるかを諮り、投票と決定した。
- ・立候補者の確認をしたところ、玉虫志保実議員と庄子幸太議員が立候補を表明、立候補にかかる所信表明を行い、続いて質疑応答を行なった。

<玉虫志保実議員の所信表明>

- ・副議長の最大の責務は、議長を補佐し、議会運営を円滑に推進すること。
- ・監査委員や予算特別委員会委員長の経験を最大限に生かし、開かれた議会をより一層進めるため尽力したい。

<立候補者への質疑・応答>

問：議会運営委員会で広報広聴について協議しているが、どのような取組みをされるのか。

答：皆で考えていくことが大事だと思う。副議長の一番大きい仕事は議会報告会だと感じている。基本系はそのまま保った方がいいが、メンバーや時代

に合わせて変えていかなければいけない。議員全員で話して、納得いく方法を見つけられたらよいと考える。

問：議員間の議会運営のあり方に対して、どのように邁進していくのか。

答：14 人の議員はそれぞれ考え方が違うが、課題について議論を尽くすことがベストだと思う。ランチミーティングなど別の形でのコミュニケーションが必要だと思う。

< 庄子幸太議員の所信表明 >

- ・私は二宮副議長の続投を期待していたが、清田議長の誕生の今、思いは一つにしなければならない。議長を支えながら、議員一丸となってあらゆる世代の町民の皆様にとって、さらに身近な議会として、大きなメッセージを内外に表明することが必要だと考えている。
- ・この2年間は、議会だより編集委員長として、委員と共に取組んできた広報をさらに進めたい。また副議長として議会運営委員会の小委員会で取組んできたオープンな意見交換を望む町民のニーズに対して、対応をさらに進め、議会の見える化を推進したい。
- ・新庁舎建設が遅れた今、ライブ配信やタブレット議会といった課題については次の選挙で選ばれた議員によって検討が進められる公算が大きい。ICT、特にいつでもどこでもアクセスできる議会のホームページのあり方などのニーズに、迅速に、かつ慎重に伝えていくための道筋をつけるべきではないかという思いもある。
- ・町長と議会の溝が埋まらない中で、緊張関係を保ちつつと言われた清田議長の思いのもと、潤滑油として、その一端を担う覚悟で進めていきたい。
- ・新議長とともに、議会報告会のあり方、ワークシェアリングの課題整理にも取組みたいという強い思いで、立候補を決意した。

< 立候補者への質疑・応答 >

問：「執行者側と議会の溝が埋まらない中で潤滑油」とのことだが、具体的にどう機能させるのか。

答：「潤滑油」という表現は、執行側に擦り寄るという意味ではなく、情報を引き出せるような支えができたらと考えている。

問：ICTについて、新庁舎のスケジュールに合わせると先送りになってしまふことが懸念されるが、どのように進めていくのか。

答：皆さんと決めていくことが絶対だが、新議長の方針のもと、できることから着手したい。積極的に提案し、協議していきたい。ケーブルテレビの情報コンテンツの整理や議会だよりのPR動画などはすぐにでも着手できる。

問：ICTへの強い意思、潤滑油など言われたが、全体の議会運営のあり方についての考えを聞きたい。

答：いろんな意見がある中で、全会一致は難しいながらも議論を尽くしていけば、よい方向性になっていくと思う。ランチミーティングや勉強会など活用していきたい。

問：議会だより編集委員会の委員長を務めてきたが、その中で何か気づきな

どはあったか。

答：議会だよりは議員各位の協力によって作っていくもの。この感謝の気持ちを忘れずに、皆さんと一緒に、町民の利益に向かっていくことを大事にしていきたい。

問：選挙の時に「チェンジ町議会！」と掲げていたが、副議長を目指すにあたって、今の議会がどんな問題があって、どんなことを変えていきたいのか。

答：提案をすることは議会議員の職務ではないが、提案も時にはするべきと考える。互いに知恵を絞って方向性を見いだしていこうという気持ちで臨んでいる。

問：質問に答えてないと思うが、今までの議会が問題だったから、提示したい、変えたいと言うべき。ICT関係のことかなとは思うが。

答：ICTについては、若いチームを作るべきだと思う。ICTのあり方、タブレットの運用の仕方、準備はもちろんだが、まず、トライしていくのが大事で、新庁舎とセットでなくてもできることはある。

問：協議会が足りないという話が出たが、協議会は町が要請するもの。どういう考え方なのか。

答：議会から要請する勉強会は活用できると思う。協議会は、その延長線上にあるので、勉強会で熟議して、協議会に発展させるような、そういう、流れのイメージを持っている。

○第3回

(1) 議席の指定について

従来から4番と14番を欠番とし、議長が16番、副議長が1番の議席となっている。今回もその旨を了承された。

次に、正副議長の議席を除いた議席から、公明党（複数議員のいる会派）の議席を優先することが了承され、残る議席を協議で決めることとし、次のとおりに決定した。

1番：玉虫志保実、2番：竹内恵美子、3番：鈴木たまよ、5番：吉川重雄
6番：二宮加寿子、7番：橋本秀彦、8番：鈴木京子、9番：石川則男
10番：おかみゆき、11番：高橋英俊、12番：毛利泰輔、13番：庄子幸太、
15番：亀倉弘美、16番：清田文雄

(2) 監査委員の推薦について

橋本秀彦議員を推薦する意見があり、橋本議員も了承し、町長へ推薦することとなった。

(3) 常任委員会委員の選任について

事前に提出された常任委員会の希望調査をもとに調整の結果、次のとおり各常任委員会の構成が決まった。

○総務建設常任委員会

竹内恵美子、鈴木たまよ、二宮加寿子、おかみゆき、毛利泰輔
庄子幸太、清田文雄

○福祉文教常任委員会

玉虫志保実、古川重雄、橋本秀彦、鈴木京子、石川則男
高橋英俊、亀倉弘美

○第4回

(1) 総務建設常任委員会委員長・副委員長の報告について

本会議休憩中に総務建設常任委員会を開催し、委員長に毛利泰輔議員、副委員長に竹内恵美子議員が互選されたとの報告が委員長からあった。

(2) 福祉文教常任委員会委員長・副委員長の報告について

本会議休憩中に福祉文教常任委員会を開催し、委員長に石川則男議員、副委員長に鈴木京子議員が互選されたとの報告が委員長からあった。

(3) 第二次新庁舎整備事業特別委員会委員長・副委員長の報告について

本会議休憩中に第二次新庁舎整備事業特別委員会を開催し、委員長に竹内恵美子議員、副委員長に鈴木京子議員が互選されたとの報告が委員長からあった。

(4) 議会運営委員会委員の選任について

申し合わせにより委員に就任する副議長及び常任委員会正副委員長を含む次の7名が委員に決定したことについて、各常任委員会委員長から報告があった。

(副議長) 玉虫志保実

(総務建設) 毛利泰輔、竹内恵美子、二宮加寿子

(福祉文教) 石川則男、鈴木京子、高橋英俊

(4) 議会だより編集委員会委員の選任について

各常任委員会から3名ずつの選任について、各委員長から報告があり、次の6名が委員と決定した。

(総務建設) 鈴木たまよ、橋本秀彦、おかみゆき

(福祉文教) 鈴木京子、庄子幸太、亀倉弘美

○第5回

(1) 議会運営委員会委員長・副委員長の報告について

本会議休憩中に議会運営委員会を開催し、委員長に高橋英俊議員、副委員長に二宮加寿子議員が互選されたとの報告が委員長からあった。

(2) 議会だより編集委員会委員長・副委員長の報告について

本会議休憩中に議会だより編集委員会を開催し、委員長におかみゆき議員、副委員長には鈴木たまよ議員が互選されたとの報告が委員長からあった。

(3) 都市計画審議会委員の推薦について

都道府県及び市町村都市計画審議会の組織及び運営の基準を定める政令並びに大磯町都市計画審議会条例により、議会議員が委員になることとしている。

従前より総務建設常任委員会委員長が都市計画審議会委員の職に就くことになっているため、毛利泰輔議員を推薦することとした。

(4) 民生委員推薦会委員の推薦について

民生委員法及び大磯町民生委員推薦会に関する規則により、議会議員が委員になることとしている。

従前より福祉文教常任委員会委員長が民生委員推薦会委員の職に就くことになっているため、石川則男議員を推薦することとした。
